

「西田先生は政治家をされていて、多方面からの理不尽な批判に腹が立つことはありませんか？」

平成 30 年 10 月 10 日

●フクロウさんからの質問

素朴な質問をさせていただきます。政治家の方々は、メディアをはじめ、常に多方面から厳しい批判にさらされています。ボロクソに言われることがあっても、褒められることなんてないみたいです。最近テレビなんかを見ていますと、その批判はあまりに理不尽だなと思うこともあります。私自身も組織で責任ある立場にいた経験がありますので、無茶苦茶な批判を浴びたことがあり、傍観者は勝手なことばかり言うものだなと、腹が立ったことも多々あります。今日、上の地位にいても何もいいことなんてないのでと感じます。アンケート調査で、若年層が上の地位にいきたがらないという結果が出ているそうですが、わかる気がします。先生は政治家をされていて、多方面からの理不尽な批判に腹が立つことはありませんか。また、どのように対処されていますか。あまりにも稚拙な質問だとは承知していますが、教えていただければ幸いです。

●西田昌司の答え

私も、(特にヘイトスピーチ解消法を巡る) いわれのない批判に晒されています。私が何度もヘイトスピーチ解消法の説明をしても理解のできない人がいるものです。逆に、たまには過分なお褒めにあずかることもあったりしますが、最近は批判の方が多いうように思います。しかし、政治家とはそのようなものですし、誰かがその嫌な役を引き受けなければならないのです。

国民に選挙で選ばれた人間が国民の代表として国会で議論をしますが、国民はそんな政治家を眺めながら、もしも自分が政治家であったらどこまでや

れるかといった想像力もなしに好き勝手な批判をするものです。そのような想像力が少しでもあればそう無茶苦茶な批判はできないはずなのですが、特にインターネットが発達した現代においては、インターネットの匿名性を利用して他人への憎悪を剥き出しにした発信をすることで欲求不満を解消する憐れな方が多数いらっしゃいます。

私は自ら進んで政治家になったのではなく、たまたまなってしまったのですが、政治の世界を本当に知っていたら誰も政治家などやりたくもないだろうと思えるくらい、この世界は報われることのない、つまらない世界です。そんな中、フクロウさんのようにわかっておられる方がいらっしゃると非常に励まされますし、救われる思いがします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>